

## 安全運転サポート車(サポカー)について

経済産業省・国土交通省・警察庁や自動車関係団体では、高齢運転者を含めた全ての自動車運転者による交通事故の発生防止・被害軽減対策の一環として、被害軽減(自動)ブレーキなどの先進安全技術を活用した一定の運転機能を備えた車を「安全運転サポート車(サポカー)」と称してその普及に取り組んでいます。



詳しくはWEBサイトをご覧ください。

[http://www.jama.or.jp/safe/safety\\_support\\_car/index.html](http://www.jama.or.jp/safe/safety_support_car/index.html)

## エコドライブ10のすすめ

- ① 自分の燃費を把握しよう
- ② ふんわりアクセル「eスタート」
- ③ 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転
- ④ 減速時は早目にアクセルを離そう
- ⑤ エアコンの使用は適切に
- ⑥ ムダなアイドリングはやめよう
- ⑦ 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
- ⑧ タイヤの空気圧から始める点検・整備
- ⑨ 不要な荷物はおろそう
- ⑩ 走行の妨げとなる駐車はやめよう



エコドライブのアニメ3編を見ることができます。

[http://www.jama.or.jp/eco/eco\\_drive/index.html](http://www.jama.or.jp/eco/eco_drive/index.html)



本冊子のWEB版はこちらからご覧いただくことができます▲

## 一般社団法人 日本自動車工業会

〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館

<http://www.jama.or.jp/>



無断転載禁止© Printed in Japan

# 安全すてきなカーライフ PASSPORT

2020-2021

一般社団法人 日本自動車工業会

2次元コードで動画視聴も!

# あなたのカーライフ、 もっと安全に、すてきに!

進化するクルマ。進化する安全装備。正しく使って、  
あなたのカーライフをもっと安全に、すてきに楽しみましょう。  
ぜひ、この冊子をお役立てください。

過信は禁物!  
クルマの安全装備

1 P01

先進安全装備は、  
あなたの安全運転の  
サポート役

2 P03

先進安全装備は  
利点だけでなく、  
注意点も知りましょう

3 P05

安全の基本は  
シートベルト

4 P07

子どもの安全は  
大人が守る

5 P09

SRSエアバッグは  
あくまで補助装置

13 P23

高速道路では

14 P25

セルフスタンドでは

15 P27

もしも!?!のときは

6 P11

ペダル、セレクトレバー  
操作は慎重に

7 P13

走行中は **NEW**  
こんなことにもご注意ください

16 P29

こんなことにも  
気をつけて

17 P31

必ず点検～タイヤ編

8 P15

子どもから  
目を離さないで

9 P17

ドアや窓の  
挟み込みにご注意を

10 P19

そのワキ見が  
事故のもと

18 P33

必ず点検～エンジンルーム編

11 P20

車両火災は  
こんなときに起きる!?

12 P21

車両火災の  
原因を持ち込まない

うっかり事故は、  
こう防ぐ!

インフォメーション P35

- リコール制度について
- 運転者表示マーク ● 番号案内

確認



本文内の2次元コードをスマホで読み込むと、  
関連動画を見ることができます。



# 先進安全装備は、あなたの安全運転のサポート役

運転支援装備には作動条件や限界がありますので、システムを過信せずに安全運転を心がけましょう。

取扱説明書等で機能を理解しましょう。



## クルマが自動でブレーキをかけてくれるの!?

動画を見る



作動しにくい事例



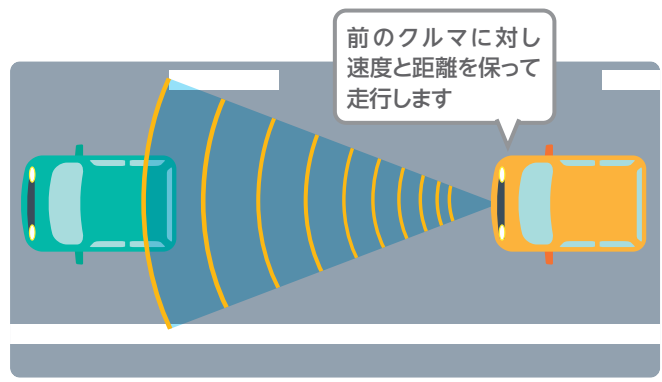
飛び出しや割り込み

雨など天候・路面状況

感知しにくい形状のもの

衝突被害軽減ブレーキは、クルマが障害物を感知して警告やブレーキの補助操作を行います。条件によっては作動しない場合があります。安全運転を前提に、システムの過信は禁物です。

## 前のクルマが急に減速した!



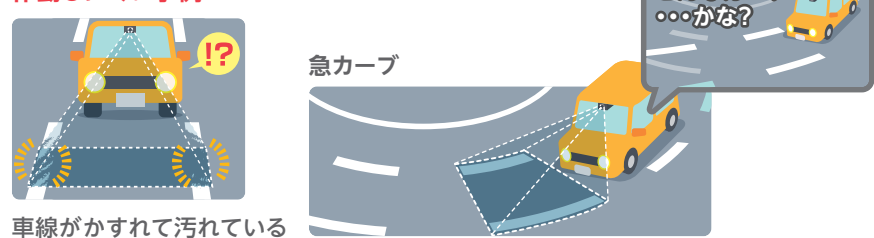
定速走行・車間距離制御装置は、センサーで先行車を認識し、設定車速内で車間距離を保ちながら走行し、高速道路や自動車専用道路での運転を支援します。機能には限界(道路状況・気象条件・速度等)があるので過信せず、いつでもブレーキを踏めるよう心がけましょう。

## 車線をはみ出しそうになって、ヒヤリ!

動画を見る



作動しにくい事例



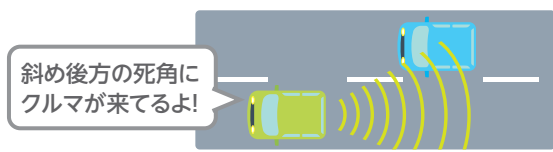
車線がかすれて汚れている

急カーブ

車線逸脱警報は道路上の車線を検知し、車線をはみ出しそうになったとき、警告音等で正しい位置に戻るよう促します。ステアリング操作や車線維持を補助するシステムもありますが、あくまでも安全運転が前提。機能を過信しないようにしましょう。

## 死角になる後続車にも気をつけて

動画を見る



注意すべき事例 急勾配の坂の走行や雪道の長時間走行



リヤバンパー側面は、いつもきれいに!シールを貼らないで!

後側方接近車両警報は死角になる斜め後方のクルマを検知し、危険を知らせます。車線変更の際は、直接目視やミラーで後方の安全を確認しましょう。



# 2

## 先進安全装備は利点だけでなく、 注意点も知りましょう

PASSPORT

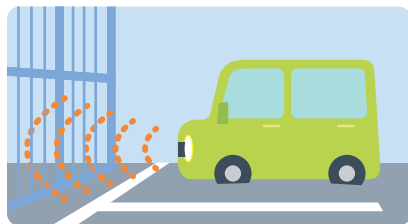
クルマの先進安全装備は優れた機能を備えていますが、その利点だけを見るのではなく、それぞれの使用上の注意点も覚えておきましょう。

取扱説明書等で  
機能を理解しましょう。

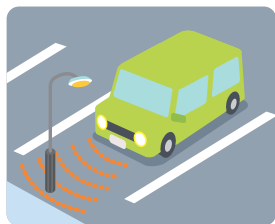


### あっ、ペダルを踏み間違えてしまった!

#### 正しく検知できない事例



網目状のフェンス

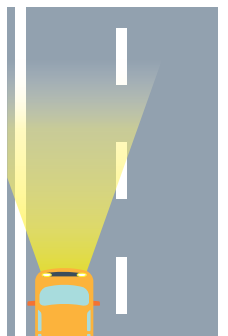


細い障害物

ペダル踏み間違い時加速抑制装置は、誤って急にアクセルを踏み込んだ場合にセンサーが検知、音で誤操作を知らせ、エンジン出力を抑制して急加速を防ぎます。気象条件や周辺環境、障害物等によって作動しない場合や予期せず作動する場合があります。ペダル位置を確認しましょう。今お乗りのクルマに後付け可能なペダル踏み間違い急発進抑制装置も商品化されておりますが、機能を正しく理解してご利用ください。

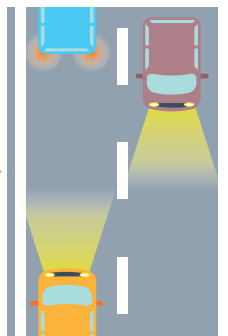
### 前照灯の自動切替は上手に使いましょう

<先行車・対向車なし>



ハイビーム

<先行車・対向車あり>



ロービーム

自動切り替え

自動切替型前照灯は、夜間走行時、センサーが周囲の明るさや他車を検知し、ハイビームとロービームを自動で切り替え、遠方視認性を向上させるとともに、切り替え忘れを防ぎます。自動切替には限界(道路状況・気象条件・速度・歩行者への配慮等)がありますので、必要に応じて手動の切り替え・減速等安全運転を心がけてください。

### バック時や車庫入れの際は、 画面だけでなく、自分の目で安全を確認!

動画を見る



ナビ画面等に車両周辺映像を表示し、運転をサポートするカメラシステムには、後退時に後方視界を表示するものと、四方のカメラ映像から見下ろす視点の映像を再現するものがあります。表示される映像の範囲には限界があり、気象条件によって映し出される映像が見にくい場合があります。必ず目視やミラー等で周囲の安全を直接確認してください。

#### クルマの後方を確認できるリヤビューカメラの場合



#### クルマの周辺を確認できるカメラシステムの場合



正しい運転姿勢で、しっかりとシートベルトを着用することが安全運転の基本です。運転席・助手席はもちろん、後席でも忘れずに!

動画を見る

## 安全・快適ドライブは正しい運転姿勢から



正しい姿勢で運転していると、体が安定しているので疲れにくく、とっさのときの危険回避能力も向上します。

肩ベルトは鎖骨の上を通し、首に掛からないようにします。高さ調整ができる場合は、高さを調整します。

高さ調整付ハンドルは、メーター類が見える高さに調整します。

ペダルを踏み込んだときにひざがわずかに曲がる位置にシートを合わせます。

ハンドルの上を握ったときにひざがわずかに曲がるように背もたれを調整します。



ヘッドレストの真ん中を耳の高さに合わせます。

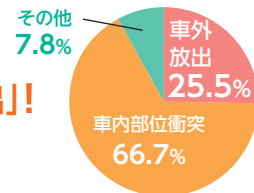
腰ベルトは腹部にかからないようにし、腰骨を押さえる位置にします。

ベルトにねじれがないようにバックルを留め、肩ベルトを引き上げて腰ベルトのたるみをとります。

シートに深く腰かけ、背もたれから背中と腰が離れないように座ります。

後部座席でシートベルトをせず死亡した人の4人に1人が「車外放出」!

過去10年間における後部座席シートベルト非着用死者 (2019年 警察庁調べ)



動画を見る

## 後ろの席でもシートベルトを忘れずに

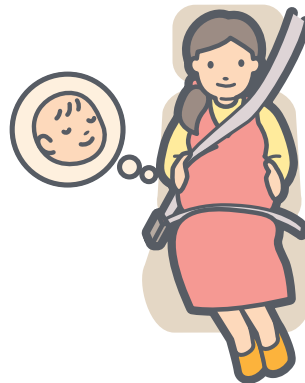


後ろの席でもシートベルトをしてね!

すべての座席のシートベルト着用が法律で定められています。安全のために後部座席でもしっかりとシートベルトを着用しましょう。

動画を見る

## 妊娠中もシートベルトを着用しましょう



お腹の赤ちゃんのためにもシートベルトの着用は大切です。着用の際は、①腰ベルトを腰骨の低い位置にかけ②肩ベルトを肩の中央から胸にかけて、ベルトがお腹にかからないようにします。

※シートベルト着用にあたっては、かかりつけの医師に相談し、その注意に従ってください。

# 4

## 簡単、確実装着！ ISOFIXチャイルドシート

チャイルドシートは簡単確実に固定できるISOFIXチャイルドシートをお勧めします。

PASSPORT

### <チャイルドシートの固定方法>

装着が簡単・確実!!  
ISOFIX (アイソフィックス)

LOD (ロック・オフ・デバイス)



※チャイルドシート、及び車両の取扱説明書に従って確実に装着してください。

動画を見る



## チャイルドシートは体格に合わせて

チャイルドシートは子どもの成長に合ったものを選びましょう。また、装着の際は肩ベルトがからだにフィットしているかを確認してください。使用率は年齢上昇とともに減少する傾向にあります。子どもがシートベルトを使用できるようになるまでは必ず装着しましょう。

### <適正の目安>



乳児用



幼児用



学童用

参考体重: 10kg未満  
参考身長: 70cm以下  
参考年齢: 生後0~1歳くらい

参考体重: 9~18kg  
参考身長: 65~100cm  
参考年齢: 1~4歳くらい

参考体重: 15~36kg  
参考身長: 95~150cm程度  
参考年齢: 4~12歳くらい

## シートベルトで遊ばせない

動画を見る



子どもがシートベルトで遊ぶと、ベルトが首に絡まるなど重大事故につながりかねません。特にALRが装着されている場合、ベルトを最後まで引き出すと、ALRが作動してベルトがゆるめられなくなります。ご注意ください。

## ALR (オートマチック・ロック・リトラクター)

ALRはチャイルドシートを確実に固定するために工夫された機構です。ベルトを最後まで引き出すとロック機能が作動し、ベルトを戻した位置でロックし、最後まで戻さないと再び引き出すことができません。



動画を見る



## 子どもの抱っこは危険です!



子どもを抱っこして乗車するのは大変危険です。必ずチャイルドシートを使用してください。チャイルドシートは、クルマのシートにフィットし、国の安全基準に適合したものを選び、後ろの席に取りつけてください。

国の安全基準への適合が確認されたチャイルドシートには、以下のいずれかの表示があります。



※「43」以外の番号が付されている製品も適合品です。

## SRSエアバッグはあくまで補助装置

シートベルトの着用なしでは、SRSエアバッグが作動しても適切な効果は得られません。かならずシートベルトを締めましょう。

※SRSエアバッグのSRSは、“Supplemental Restraint System”の略称で「補助拘束装置」という意味です。



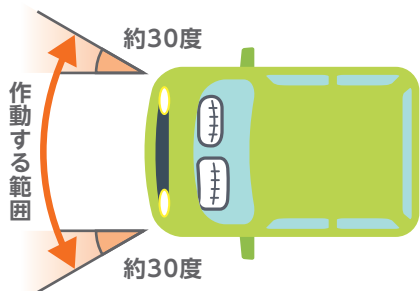
### シートベルトを締めて正しい姿勢で

動画を見る



運転者は、顔や胸をハンドルに近づけすぎるとエアバッグが作動した場合、強い衝撃を受け、危険です。シートベルトを着用し、常に正しい姿勢で運転するようにしましょう。

### エアバッグが開かないって、どんな場合？



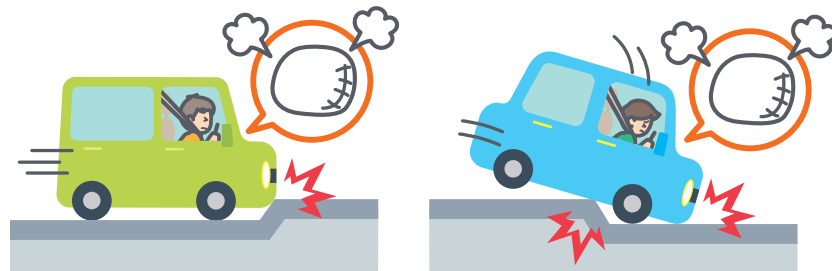
エアバッグは、変形や移動しない固定された壁に正面から約20~30km/h以上のスピードで衝突したとき程度の強い衝撃により作動するようにつくられています。この条件から外れた場合は作動しません。過信は禁物です。

#### エアバッグが作動しないことがある場合

- 衝突の方向がクルマの中心から外れたとき
- ガードレールや壁に、ななめに衝突したとき
- 電柱や立ち木などに衝突したとき
- トラックの荷台の下へ、もぐり込んだとき
- 追突されたとき
- 横転や転ぶくしたとき など

### こんなことでもエアバッグが開いてしまう場合がある

動画を見る



走行中にクルマの下部を激しくぶつけたときなど、クルマの損傷はそれほどでもないのにエアバッグが作動する場合があります。開いてしまった後は、自動車販売店や整備工場にクルマの状態を見てもらうことが肝心です。

#### クルマの損傷は少ないのにエアバッグが作動してしまう場合

- 縁石などに衝突したとき
- 転落やジャンプしたときの着地時
- 地面に強くぶつかったとき など

### エアバッグ格納部まわりに物を置かないで！



エアバッグは”SRS AIRBAG”と表示のあるダッシュボード内に格納されているので、そのまわりに芳香剤やスマホホルダーなどを置かないよう注意してください。エアバッグが作動した場合、それらの物がはじけ飛んで危険です。



# 6

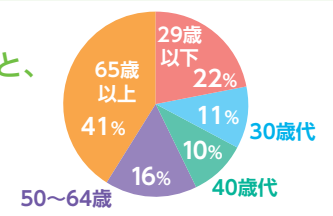
## ペダル、セレクトレバー操作は慎重に

PASSPORT

運転がラクなAT車ですが、うっかりミスが重大につながることもあります。ペダル操作やセレクトレバー操作には十分気をつけましょう。

踏み間違いによる事故は65歳以上と、29歳以下に多い傾向があります。

年齢別アクセルとブレーキの踏み間違い交通事故の割合 (2019年 警察庁調べ)



### ブレーキとアクセルの踏み間違いにご注意を

動画を見る



あせりは禁物。しっかり確認しよう!

運転に適さない靴・履物は避けよう!



運転に適した靴をはき、常にブレーキペダルとアクセルペダルの位置を確認し、余裕をもった運転を心がけましょう。「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」を装備しているクルマも、条件によって作動しないことがあります。装置を過信せず、ペダルの位置を十分確認しましょう。



### 特にバックのときは気をつけて!

駐車場でバックするときなど、後ろをふり向いた姿勢で足の位置がずれ、ブレーキペダルとアクセルペダルの踏み間違いをすることがあります。発進前にブレーキペダルとアクセルペダルの位置を確認し、急なアクセル操作を避けましょう。また、バック誘導をしてもらう場合、クルマの真後ろ(進路上)は危険です。クルマの横に立って誘導してもらうようにしましょう。

### 運転席フロアマットはクルマに合ったものを

動画を見る



ぴったりサイズを選んでしっかり固定しよう



重ね敷きはダメ!



マットが重なってアクセルを押しているので危険!

フロアマットはクルマに合ったものを選び、しっかり固定して使用しましょう。フロアマットを2重3重にすると、使っているうちにずれて上側のマットがアクセルペダルを押してしまうことがあります。また、丸まってペダルの下に入るとブレーキが踏み切れなくなるおそれもあり危険です。フロアマットは1枚だけにしましょう。

! 固定方法などは取扱説明書で確認してください。

### エンジンスタート時、発進時、クルマから離れるときは?



エンジンをかける\*ときは、パーキングブレーキがかかっており、セレクトレバーが「P」であることを確認してください。発進時にセレクトレバーを操作するときは、ブレーキペダルを踏んでいることを確認し、前進「D」と後退「R」をまちがえないよう、目で確認しましょう。また、クルマから離れるときは、必ずセレクトレバーが「P」であることを確認してください。

\*電気自動車やハイブリッド車は、「パワー」または「レディーオン」



## 走行中はこんなことにもご注意を

クルマの安全装備は優れた機能を備えています、その利点だけを見るのではなく、それぞれの使用上の注意点も覚えておきましょう。



### アイドリングストップの際の注意点

動画を見る



アイドリングストップによるエンジン停止中はブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。ブレーキを離すとエンジンが再始動するので、絶対に運転席から離れないでください。やむを得ず運転席から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけて、セレクトレバーを「P」にしてエンジンを切ってください。

#### アイドリングストップ装置とは

車両を停車させると自動的にエンジンが停止し、発進時にブレーキを離すとエンジンが再始動する装置です。アイドリングによる排気ガスの発生や騒音を抑制し、燃費も向上させます。なお、アイドリングストップ機能がキャンセルされる条件がありますので、詳しくは取扱説明書をご覧ください。なお、ハイブリッド車では制御が異なります。詳しくは取扱説明書をお読みください。



NEW

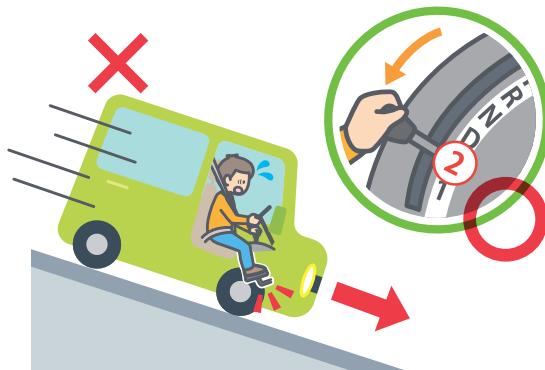
### 思いやり・ゆずり合いの運転をしましょう



「あおり運転」は、重大な交通事故につながる危険な行為です。加害者にならないことはもちろん、被害者にならないためにも、安全な速度、十分な車間距離の確保とともに、相手の気持ちに立ち、思いやり・ゆずり合いの運転をしましょう。

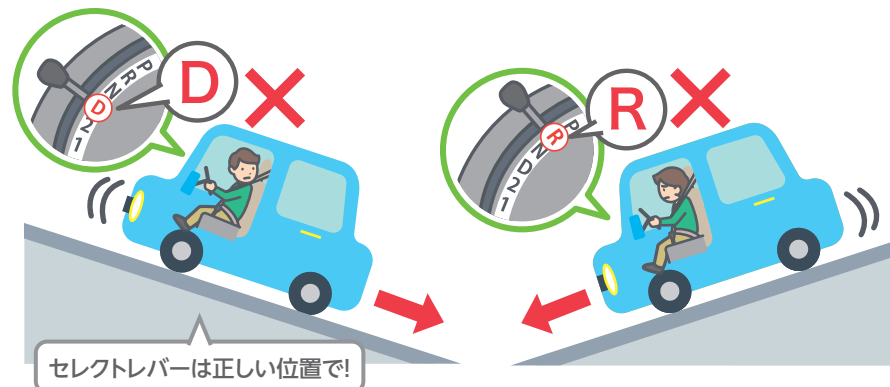
### 長い下り坂はフットブレーキに頼りすぎないで

動画を見る



フットブレーキを繰り返し使用すると過熱し、ブレーキの効きが弱くなるおそれがあります。シフトダウンし、エンジンブレーキを使って、ゆっくり下るのがコツです。短い坂でもニュートラルに入れたり、エンジンを切ったりしないでください。エンジンを切ると、ハンドル操作やブレーキ操作が非常に重くなり、危険です。

### オートマ車でのエンストに注意



上り坂で前進「D」にしたまま惰性で後退したり、逆に下り坂で後退「R」にしたまま惰性で前進するような走り方はしないでください。セレクトレバーは走行状態に合った正しい位置で使用しましょう。エンストしてブレーキの効きが非常に悪くなったり、ハンドルが非常に重くなったりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。坂道ではエンジンが始動していることをエンジン回転計などで確認してから発進しましょう。

8

## 子どもから目を離さないで

PASSPORT

子どもはとにかくじっとしていません。子どもを乗せるときは思いもかけない事故が起こりがちです。常に細かく気配りすることが肝心です。

車内に子どもを残し、  
キーの閉じ込みをした件数  
1カ月間で**144件!**

(2019年8月 JAF調べ)



### 絶対にクルマの中に置き去りにしない

動画を見る



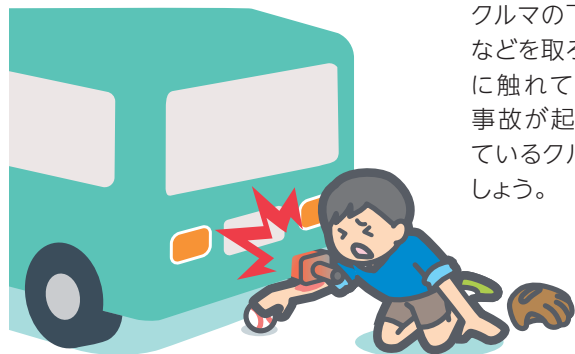
クルマの中に子どもを置き去りにするのは絶対にやめましょう。特に暑い日など、クルマの中は50℃以上にもなり、死亡事故も発生しています。

### クルマから出るときは、子どもを連れて、キーを持って



クルマの中に子どもだけを残すのは大変危険です。子どもがドアロックやリモコンキーをいじって、誤ってドアをロックしてしまうことがあります。「少しの時間だから」「寝ているから」という一瞬のスキが事故のもと。車外に出るときは必ずキーを持って、子どもといっしょに出るようにしましょう。

### マフラーでやけどにご注意



クルマの下に入り込んだボールなどを取ろうとした際、マフラーに触れて思わぬやけどをする事故が起こっています。駐車しているクルマには十分注意しましょう。

### 窓やサンルーフから顔や手を出させない



走行中、クルマの窓やサンルーフから顔や手を出すことがどんなに危険なことか、幼い子どもには分かりません。大人が厳しく注意し、絶対にやめさせましょう。

## ドアや窓の挟み込みにご注意を

スライドドアの挟み込みや、パワーウィンドウに指を挟まれるケースがあります。ドアや窓の「うっかり事故」にご注意ください。

チャイルドシートの着用は、子どもを挟み込み事故から守ることもつながります。



### パワーウィンドウの操作は 大人が安全を確認してから

動画を見る



パワーウィンドウの操作時は、子どもが窓から顔や手を出していないか、きちんと安全を確認してから行なってください。子どもにはチャイルドシートを正しく着用させ、パワーウィンドウのスイッチをいたずらできないよう、ロック機構をオンにしておきましょう。

### オートクローザーを知らない同乗者に ひと言、声をかけてあげましょう



オートクローザーは、スライドドアやトランクなどを半ドア状態から自動で閉めきる便利な機能。でも、この機能を知らない同乗者が指などを挟むケースがあります。ひと言、注意を呼びかけましょう。

### スライドドアの開け閉めは十分気をつけて

動画を見る



乗り降りがラクなスライドドアですが、開け閉めの際、うっかり指などを挟んでしまうこともあります。また、傾斜地での操作にもご注意。あわてず十分に注意して開け閉めするようにしましょう。

### アームレストの取付部に指を挟まないように!



アームレストとシートとの取付部の隙間に子どもが指を挟み込んでしまう事故も見られます。子どもが指などを挟まないよう十分注意しましょう。

10

## そのワキ見が事故のもと

PASSPORT

スマホやカーナビを操作しながらクルマを運転するのは危険です。ワキ見運転をしないよう、安全な場所に停車してから使用してください。

## 絶対にダメ! 運転中の「ながらスマホ」

動画を見る



運転中、携帯電話・スマホ等の使用が原因の事故が数多く起きています。手に持って通話したり、画面表示を注視することは禁止されています。スマホ等を使う場合には、安全な場所に停車してから使用するようにしてください。



携帯電話使用(通話目的使用・画像目的使用)による交通事故 1,065件(2019年 警察庁調べ)

## カーナビ操作は安全な場所に停車してから



運転中、モニター画面の確認はあくまで「すばやくチラッと」が基本です。すぐに視線をもどし、前方に注意してください。また、運転中の操作はやめ、きちんと停車してから行うようにしましょう。



カーナビ画面注視(注視しながらの操作も含む)による交通事故 1,602件(2019年 警察庁調べ)

11

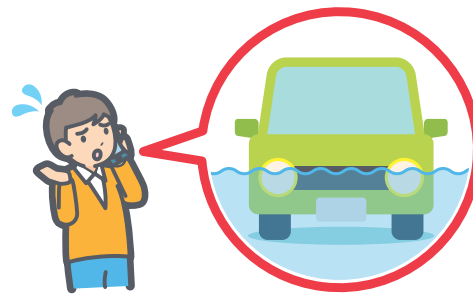
## 車両火災は、こんなときに起きる!?

PASSPORT

「まさか、クルマが燃えるなんて?」と思われがちですが、次のような場合は車両火災を起こす恐れがあります。ぜひ、心に留めておいてください。

## クルマが浸水、冠水してしまった場合……

動画を見る



浸水、冠水被害を受けたクルマは火災を起こす恐れがあります。エンジンは絶対にかけないでください。また、ハイブリッド車、電気自動車の場合は高電圧システムを搭載しているので車両に触らないでください。すぐにロードサービスや自動車販売店に連絡しましょう。

## エンジンオイルやフィルターのメンテナンスを怠ると……

動画を見る



潤滑不良でエンジン破損を招き、車両火災が発生することもあります。エンジンオイルやオイルフィルターのメンテナンスを忘れずに! なお、エンジンオイルを交換する際にこぼしたら、確実にふき取りましょう。また、オイルフィルターの取付けを誤るとオイルが漏れ、火災につながるので気をつけましょう。

## 車中仮眠は、必ずエンジンを切ってから

動画を見る



エンジンをかけたままで車中仮眠しないでください。睡眠中に誤ってアクセルを踏み込み、エンジンが高回転を続けて異常に加熱し車両火災を引き起こすことがあります。また、積雪によりクルマの周囲が密閉されたり、風のないときに長時間アイドリングすると、排気ガスが車内に侵入して一酸化炭素中毒等を起こす危険もあります。絶対にやめましょう。



クルマは燃えにくい材質を使用するよう努めていますが、可燃性の材質も一部あります。クルマに火災の原因を持ち込まないよう気をつけましょう。

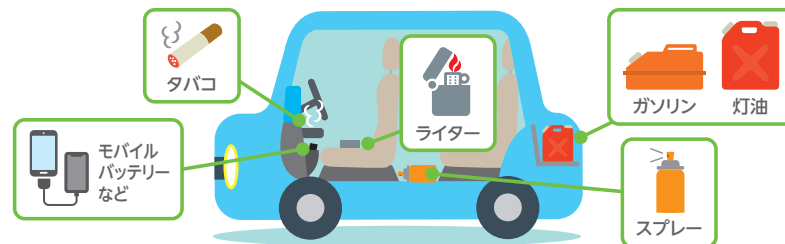


## 後付け電装品に要注意



ご自身で電装品の交換を行う場合は車両に合った型式の製品を選びましょう。バッテリーやランプ類、ナビ・オーディオ、ヒューズ等の電気配線や取り付けを間違くと車両火災になることがあります。工具を使い、正しい手順で交換・接続しましょう。

## 灰皿、ライター、スプレー缶……火の用心!



灰皿が吸い殻などでいっぱいになっていないか? 周りに燃えやすいものを置いていないか? ライターを、センターコンソールやグローブボックスに放置していないか? また、シートの下などに落としていないか? こまめに確認しましょう。ライターやスプレー缶、モバイルバッテリー、バッテリーを内蔵しているものなどは、日光が当たって車内が高温になると破裂・発火することがあります。また、車内に可燃性のもの(ガソリンや灯油)などを放置すると自然発火の原因になります。

## 燃えやすいものに注意しましょう



エンジンルームに可燃物(布など)を置き忘れると発火の原因になります。小動物が持ち込んだ枯れ草にも注意しましょう。走行後、排気管が熱いまま枯れ草などの上に駐車したり、エンジンをかけたままにすると、熱で出火する危険があります。

## こぼした飲み物やケミカル剤にも気をつけて



電装品に飲みものをこぼしたり、周辺でクリーナーや潤滑剤等のケミカル剤を使用すると電装品から発火する恐れがあります。確実にふき取り、自動車販売店などで確認してもらいましょう。

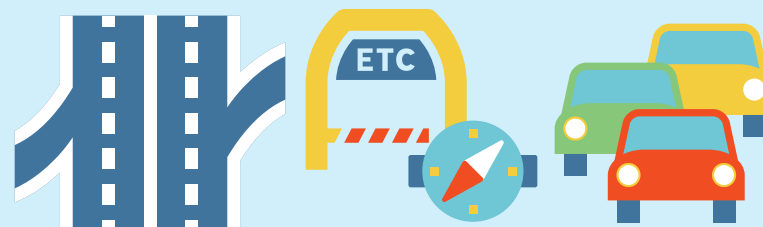
動画を見る

## 4WD車のタイヤが、火災の原因に!?



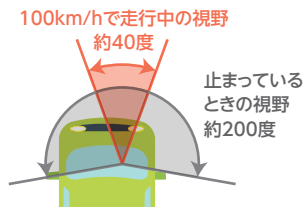
4WD車の場合、フロントとリアのタイヤサイズ、形状、銘柄、トレッドパターン、摩耗状態や空気圧が異なると、最悪の場合、駆動系部品の過熱による火災の危険があります。4WD車は4輪ともメーカー指定のサイズ、形状のものを装着しましょう。詳しくは各メーカーの取扱説明書をお読みください。

高速道路では、より慎重な運転を。料金所・サービスエリア・パーキングエリア付近では逆走が起これやすいため、標識・路面標示で進行方向を確認しましょう。



スピードを上げると視野はせまくなる

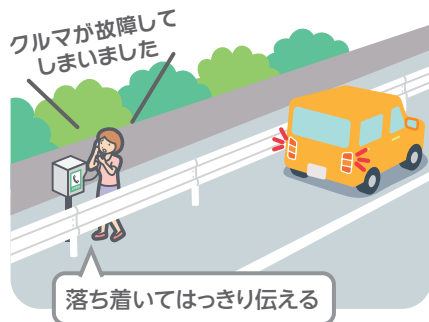
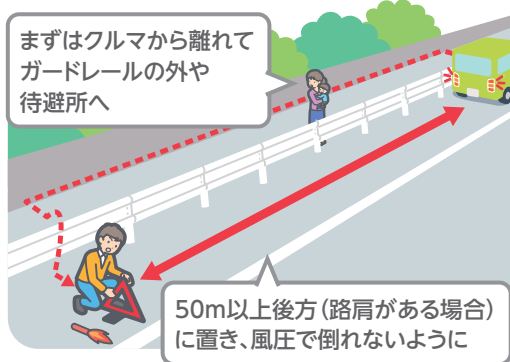
動画を見る



止まっているときの視野が約200度あるのに対し、100km/hで走行中の視野は約40度に狭まります。自分の運転技術を過信せず、スピードの出し過ぎに気をつけ、周囲によく注意して運転しましょう。

事故や故障、パンクのときは

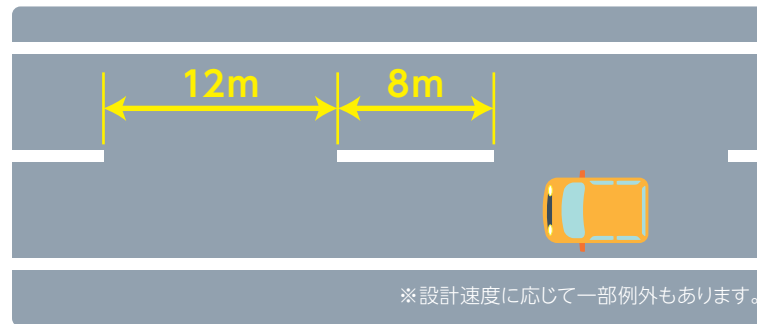
動画を見る



やむを得ず路肩に停車する場合は、安全を確認し、ハザードランプで後続車へ合図するとともに、全員クルマから降りてガードレールの外や待避所など安全な場所へ避難してください。周囲のクルマに注意しながら、適切な位置に三角表示板、発炎筒などを設置し、修理作業をせず、救援を待ちましょう。

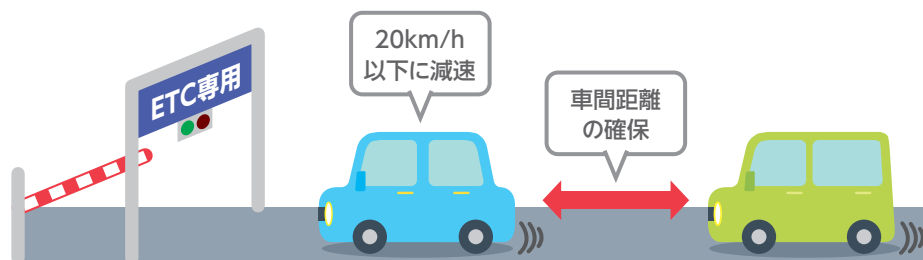
！ 三角表示板は、不測の事態に備え用意しておきましょう。事故や故障、パンクのときは、高速道路に設置された**非常電話・110番・道路緊急ダイヤル #9910**で通報しましょう。

車間距離は十分に取れていますか？



高速道路の上に12mおきに描かれた長さ8mの白線がレーンマークです。前方のクルマとの車間距離が十分に取れているかどうか、目測するときの目安にしてください。

ETC利用時は、車間距離と徐行を心がけて



ETCカードは確実に挿入(有効期限にも注意)し、ETCレーン内では十分な車間距離をとって、20km/h以下に減速して徐行してください。ETC車と現金支払い車では速度差があるので、料金所を出たら隣のレーンのクルマに注意しましょう。

セルフスタンドで給油中にガソリンが吹きこぼれたり、静電気火花が引火して火災になったりする事故が発生しています。気をつけましょう。

給油の際は  
エンジンを止め、  
窓やドアを閉めましょう



静電気は大事故のもと、ご注意ください!

動画を見る



私たちの体には静電気がたまっています。そのまま給油を行うと、静電気の火花がガソリンなどの気化ガスに引火するおそれがあります。給油口をあける前にクルマのボディや給油機の静電気除去シートに触れ、体にたまった静電気を取り除いてから給油を行ってください。

安全で正しい給油方法を再確認しましょう



燃料の入れ間違いに注意しましょう

燃料によって、それぞれ給油ノズルの色はちがいます。



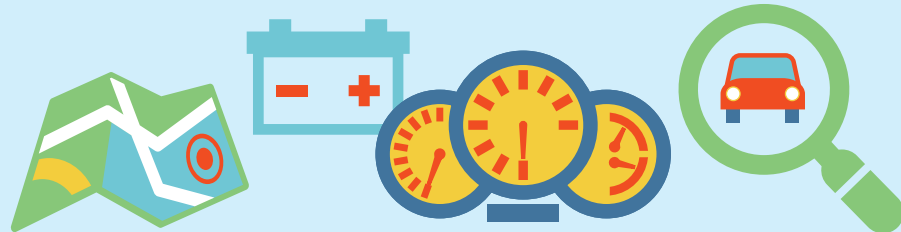
ガソリンエンジン車にはガソリン、ディーゼルエンジン車には軽油。それぞれ正しい燃料を入れましょう。燃料を間違えるとエンジンを壊したり、事故の原因になりかねません。たとえば、軽自動車の燃料はガソリンです。間違えて軽油を入れないようにしましょう。給油ノズルは色分けされており、ハイオクガソリンが黄、レギュラーガソリンが赤、軽油が緑、灯油が青です。

正しい燃料の種類は取扱説明書で確認してください。  
(車検証にも燃料の種類は記載されています)  
燃料入れ間違い件数 390件 (2018年12月 JAF調べ) ※救援要請時にお客様から申告があった件数



キャップは必ずつまみを持ちゆっくり左に回してください。このときシューという音がある場合があります。その場合、音が止むまで待ってからキャップを開けてください。音が止まる前に開けると、気化ガスが吹き出すおそれがあります。ご注意ください。  
給油ノズルは給油口の止まるまで確実に挿入し、レバーを引いて給油します。給油後は、キャップをしっかりと閉めてください。  
給油キャップの無い、キャップレスタイプの車種もあります。その場合は自分でキャップを開け閉めする必要はありません。給油ノズルでふたを押し込み、キャップ付きと同様に給油ノズルが止まるまでそのまましっかりと挿入し、レバーを引いて給油してください。  
自動的に止まったらそれ以上の給油はしないで下さい。  
もしも飛沫でぬれた場合は、柔らかい布などでふき取ってください。  
スタンド内に掲示されている注意事項を守り、安全な給油を心がけましょう。また、正常に給油できない場合は、すぐにスタンド係員を呼びその指示に従ってください。

走行中に警告灯が点灯したり、事故にあったときなどは、正しい知識にもとづいて、冷静に行動しましょう。



### 走行中に警告灯が点いたら

動画を見る



走行中に警告灯が点灯した場合は、安全な場所に停車し、「取扱説明書」で警告内容を確認して適切な対処をしましょう。また、警告灯がすべて点灯したときはエンジンが停止したことが考えられます。その場合、ハンドル操作やブレーキ操作が非常に重くなります。あわてずにクルマを安全な場所に移動させて自動車販売店などに連絡しましょう。

### 脱輪したり、縁石に乗り上げてしまったら

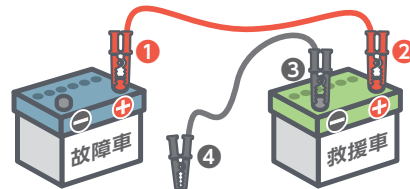
動画を見る



一見、異常がないようでも足回りやタイヤの側面にダメージを受けていることがあります。そのまま乗り続けると事故や故障につながります。タイヤを溝に落としたり、縁石に乗り上げて大きな衝撃を感じたりした場合は、すぐに自動車販売店などで点検整備を受けてください。

### バッテリーが上がってしまったら

動画を見る



つなぐ順番は①②③④  
外す順番は④③②①

④は故障車のエンジン本体  
または車体の金属部分につなぐ

もしものときに備えてブースターケーブルを用意しておきましょう。近くのクルマに救援を求め、イラストの手順通り正しく接続します。また、バッテリーを交換する際はマイナス端子から外し、プラス端子から接続しましょう。まちがって接続すると発火したり、バッテリーが爆発したりすることがあり、危険です。

一部のハイブリッド車や電気自動車は、取り扱いが異なります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

### 水没して閉じ込められそうになったら

動画を見る



- ①シートベルトを外しドアを開けて脱出します。
- ②ドアが水圧で開かない場合は窓を開けて脱出します。
- ③窓が開かない場合は車内外の水圧差がなくなるまで浸水するのを待ちドアを強く押し開け脱出します。

なお、市販の緊急脱出用のハンマーなどを車載しておき、ガラスを割って脱出する方法もあります。

フロントガラスおよび一部車種のドアガラス、リヤガラスは合わせガラスのため緊急脱出用のハンマーでも割れません。その場合は上記①②③の手順で脱出します。ガラスの仕様は販売店もしくはお客様センターへお問い合わせください。



クルマのメカニズムはますます複雑になっています。自己流の判断は大変危険です。日頃から取扱説明書をよく読むようにしましょう。



## EV、PHVを充電するときは

動画を見る



電気自動車、プラグインハイブリッド車を充電するときは、専用の充電器およびコンセントを使用しましょう。延長コードなどは火災の原因となりますので、絶対に使わないでください。雨の日でも充電はできますが、大雨や落雷の可能性がある日などは、感電のおそれがあるので屋外で充電を行わないでください。また、公共の急速充電器を使用する際は、充電が完了したら速やかにクルマの移動をお願いします。

！充電器・充電中の車両および給電器からの電磁波が、ペースメーカーなどの医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。急速充電器には近づかず、操作する場合は他の方をお願いしてください。普通充電を行う際は医療電気機器製造業者に確認してください。

## クルマから電源をとって電気製品を使うときは

AC100Vの電気製品が使用できるアクセサリコンセントを装備したクルマがあります。誤った使用は電気製品の故障や事故につながるおそれがあります。電気製品の取扱説明書も併せて読み、正しくご利用ください。

## 電子キーを車内に放置しない



電子キーは車内に放置せずに、運転者が常に所持しましょう。電子キーを車内に放置した状態で電池が切れるとロックがかかる場合もあります。電池は定期的に交換しましょう。

## 診断機接続用のコネクタにご注意を

診断機接続用のコネクタには、後付け用品を取り付けしないでください。バッテリーが上がったり、警告灯が点灯するなど、思わぬトラブルを招くおそれがあります。

## 最近のクルマはとても静かなので……

動画を見る



歩行者や自転車に乗っている人が、あなたのクルマの接近に気づかない場合があります。スピードを落として、歩行者や自転車との間隔を十分にとり、注意深く運転してください。

## えっ、クルマの中で低温やけど!?



エアコンの温風に長時間当たったり、シートヒーターを長く使用すると、低温やけどのおそれがあります。特に、子ども、高齢者、皮膚の弱い方は、ご注意ください。

## ドライブレコーダーを利用するときは

ドライブレコーダーはすべての状況において映像を記録することを保障するものではありません。特に下記に注意してご利用ください。(機種によっても異なりますので、取扱説明書をご確認ください)



- メモリーカードは正しい方向でカチッと音がするまで差し込んでください。
- ドライブレコーダーの機種により、電源ONから録画開始までの時間が異なります。
- 安定して使用するために、メモリーカードは定期的にフォーマット(初期化)しましょう。

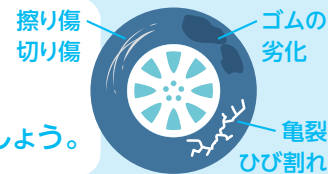
## 機械式立体駐車場では細心の注意を



機械式立体駐車場では、事故が生じた場合には重大事故になるおそれがあります。駐車装置を操作する際は、操作説明書を確認するなど、細心の注意を払ってご利用ください。

自動車メーカー指定のホイール、タイヤサイズを使用してください。  
また、運転前には空気圧や溝の減り具合、傷の有無などをチェックしましょう。

少なくとも月に一度はチェックを！  
タイヤは経時変化するので、  
自動車販売店などで定期的に点検を受けましょう。



スリップサインが出たらタイヤ交換を

動画を見る



△ スリップサインの位置を示すマーク



新品の時



交換の合図

タイヤの接地面にほられた溝（トレッドパターン）を点検してください。溝の深さが1.6mm未満になるとスリップサインが現れます。スリップの危険があるのでタイヤを交換してください。

タイヤの摩耗はクルマの制動にも影響します。制動停止距離は路面状態およびタイヤ摩耗状態により変わります。路面が乾いているときに比べ、濡れているときは停止距離が長くなります。また、タイヤの摩耗によっても停止距離は長くなります。

なお、冬用タイヤには摩耗状態を示すプラットホームが設けられており、プラットホームが現れたら冬用タイヤとしては使用しないでください。また、冬用タイヤは四輪すべてに装着してください。



冬用タイヤとしての使用限界を示す合図

↑ 冬用タイヤのプラットホームの位置を示すマーク

冬のドライブにはご注意を！

冬場になると、道路の積雪・凍結により、ノーマルタイヤを装着した車両が立ち往生して深刻な交通渋滞や通行止めを引き起こしています。冬用タイヤ（スタッドレスタイヤ等）の装着やタイヤチェーンを携行しましょう。



「タイヤチェーンを取り付けていない車両通行止め」の規制標識

！ チェーン規制：規制区間ではスタッドレスタイヤであってもタイヤチェーンを装着しなければ、通行できません。

パンク応急修理キット

動画を見る



パンクしたときに備えて、パンク応急修理キットとスペアタイヤのどちらかを装備しているのか、事前に確認しておきましょう。応急修理キットを使用する場合、タイヤに刺さったクギなどは抜かないでください。抜いてしまうと応急修理が不可能になる場合があります。応急修理キットは、搭載車両のタイヤ専用のため、指定サイズ以外のタイヤや他の用途には使わないでください。また、応急修理したタイヤは、交換もしくは再利用のための修理費用が高くなる可能性\*があります。なお、作業に自信がない場合や、安全な作業場所へ移動できないときは、ロードサービス等を活用しましょう。



\*付着した修理剤を洗浄するため

！ 応急修理キットの使用法や補修できないパンクの種類は、取扱説明書で確認してください。修理剤には有効期限がありますので、期限が切れるまでに交換しましょう。

車載ジャッキの取り扱いは、こんな要領で

動画を見る



- 1 安全で平らな場所で停車
- 2 ハザードランプを点け、クルマの後方に表示板を設置  
車輪止めも忘れずに
- 3 ジャッキアップポイントに正しく装着

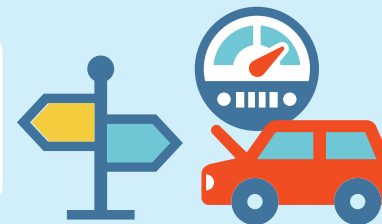
× ジャッキアップ中は絶対にクルマの下に潜らないこと！  
× 車体の持ち上げすぎは危険！  
注意 安全で平らな場所がないときはロードサービスに電話しましょう

タイヤ交換時やタイヤチェーン装着時など、車体を持ち上げてタイヤを浮かせる（ジャッキアップ）作業が必要です。いざという時のために、ドライブの前は車載ジャッキの搭載位置等、点検・確認をしましょう。

！ 車載ジャッキの使用法は製品によって異なります。必ず取扱説明書に従って正しく使ってください。

愛車と長くつきあうためにも、日常点検をしっかり行いましょう。少しでもおかしいなと思ったら自動車販売店に相談しましょう。プロによる定期点検も大切です。

クルマの部品は気づかぬうちに  
摩耗・劣化します。  
日頃から点検・整備を心がけましょう。



動画を見る

## ブレーキ液

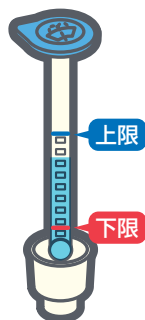


液面が「MIN」(下限)以下の状態で走行するとブレーキの効きが悪くなり、事故につながるおそれがあります。すみやかに自動車販売店などで点検を受けてください。



## ウォッシャー液

ウォッシャー液がなくなると、フロントガラスの汚れを落とせなくなり、前方視界を確保できなくなります。必ず補給してください。



## 冷却水

冷却水(LLC)の液面が「MIN」(下限)より低かったり、長期間交換せずに使用するとエンジンのオーバーヒートにつながるおそれがあります。必ず補給または交換してください。



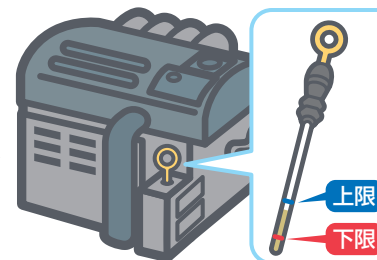
## 置き忘れにご注意

オイル点検に使った布などをエンジンルーム内に置き忘れないよう注意してください。車両火災の原因になります。



## エンジンオイル

エンジンオイルを長期間交換しないで使用したり、オイルの量が目盛りの『L』(下限)より低い状態で使用していると、潤滑不良でエンジン破損を招き、火災が発生することがあります。指定のオイルを補給または交換してください。



## バッテリー液

バッテリーの液面が「LOWER LEVEL」(下限)より低い状態で使用すると、バッテリーが上がったり破裂するおそれがあります。必ず補給してください。

※メンテナンスフリーバッテリーは、補給の必要がありません。



## 法律によりユーザー保守管理責任が定められています。

自動車の使用者は、自動車の点検をし、及び必要に応じ整備をすることにより、当該自動車を保安基準に適合するように維持しなければならない。(道路運送車両法 第47条)

⚠ 不正な改造は禁止されています。後付部品の取付けなどは、自動車販売店などに相談しましょう。福祉車両は、架装部分も忘れずに点検・整備しましょう。

※電気自動車、ハイブリッド車の場合、オレンジ色の高電圧ケーブルや高電圧部品に触らないでください。点検・修理は必ず自動車販売店に相談しましょう。



## インフォメーション

## リコール制度について

クルマの構造・装置の不具合による事故を未然に防ぐことを目的として、リコール制度が定められています。

## 自動車メーカーが責任を持ち点検・修理

【リコール】 同一型式・一定範囲のクルマについて、構造・装置・性能などが安全・公害防止上の規定＝保安基準に適合しなくなるおそれがあり、自動車メーカーが必要と判断した場合、国土交通省に届出するとともにクルマをお持ちのみなさまに連絡し、無料で点検・修理するものです。

【改善対策】 保安基準に関わらず、自動車メーカーが安全確保、公害防止の観点から必要と判断した場合は、国土交通省に届出し、クルマをお持ちのみなさまに連絡し、無料で点検・修理するものです。

【サービスキャンペーン】 商品品質改善等の観点から、自動車メーカーが必要と判断した場合は、国土交通省に通知し、クルマをお持ちのみなさまに連絡し、点検・修理するものです。

**！ 引っ越したらお知らせを！** リコール等を実施する場合は、自動車販売店などから連絡がありますので、点検・修理の実施にご協力ください。迅速・確実に連絡が届くように、引っ越しなどした場合は、15日以内に使用者住所等の登録変更手続きをお願いします。その際、自動車販売店にも知らせておけば、さらに確実です。  
(法律により使用者住所等の登録変更手続きが定められています。道路運送車両法 第67条)

## &lt;自動車不具合情報ホットラインについて&gt;

国土交通省では、リコールの迅速かつ確実な実施のため、皆様からの不具合情報を収集しています。自動車やタイヤ、チャイルドシートに異常を感じたら、**自動車不具合情報ホットライン**にご連絡を!



ホームページ受付 <https://www.mlit.go.jp/jidosha/carinf/rcl/hotline.html>  
フリーダイヤル受付 0120-744-960 (平日9:30~12:00 13:00~17:30)  
自動音声受付 03-3580-4434 (年中無休・24時間)

## 自動車の運転者が表示するマークについて

つぎのようなマークを見かけたら思いやりの気持ちをもって運転しましょう。



## 初心者マーク

普通自動車免許を受けていた期間(免許の効力が停止されていた期間を除く)が通算して1年に達しない人です。<表示義務>



(新)



(旧)

## 高齢者マーク

※新マークは2011年2月から導入  
※旧マークも当分の間は使用可  
年齢が70歳以上の人です。<表示努力義務>



## 聴覚障がい者マーク

政令で定める程度の聴覚障害のあることを理由に免許に条件を付されている人です。<表示義務>



## 身体障がい者マーク

肢体不自由であることを理由に免許に条件を付されている人です。<表示努力義務>

## 交通情報のことなら…日本道路交通情報センター

- 全国共通ダイヤル …………… 050-3369-6666
- 全国高速ダイヤル …………… 050-3369-6700
- 携帯電話の短縮ダイヤル …………… #8011
- 日本道路交通情報センターホームページ …………… <http://www.jartic.or.jp/top.html>

## ハイウェイのことは…NEXCO・首都高

- NEXCO 東日本 お客さまセンター  
(ナビダイヤル) …………… 0570-024-024  
(PHS・IP電話のお客様) …………… 03-5308-2424  
E-NEXCO ドライブプラザ …………… <https://www.driveplaza.com/>
- NEXCO 中日本 お客さまセンター  
(フリーダイヤル) …………… 0120-922-229  
(IP電話などのお客様) …………… 052-223-0333  
NEXCO 中日本ホームページ …………… <https://www.c-nexco.co.jp/>
- NEXCO 西日本 お客さまセンター  
(フリーダイヤル) …………… 0120-924-863  
(フリーダイヤルがご利用できないお客様) …… 06-6876-9031  
NEXCO 西日本ホームページ …………… <https://www.w-nexco.co.jp/>
- 首都高 お客さまセンター …………… 03-6667-5855  
首都高ホームページ …………… <https://www.shutoko.jp/>

**！** 故障車や落下物など高速道路で異常を見つけたら道路緊急ダイヤル「#9910」へ  
(固定電話・携帯電話・PHS・公衆電話からつながります)

## 車・バイクの故障、トラブルなどロードサービスに関するお問合せ

## JAFロードサービス救援コール [24時間・年中無休]

ナビダイヤル  **0570-00-8139** [全国共通]

通話料有料(固定電話1分/11円、携帯電話20秒/11円)。一部のIP電話・携帯電話からはご利用になれません。携帯電話の無料通信分対象外。

シャープ ハイサン キョウ  
または 短縮ダイヤル **#8139**

通話料有料。固定電話「ダイヤル回線」および一部のIP電話・携帯電話からはご利用になれません。

救援要請は便利なJAFスマートフォンアプリをどうぞ!

アプリの詳細やダウンロードは、こちら!

